

ほりぞえ健 ニュース

川崎市高津区下作延2-13-1西
電話:044-982-3721 FAX:044-982-3722
ホームページ <http://www.horizoe.com>
電子メール horiken@horizoe.com

民主党川崎市議会議員団

「かわさき まちづくり政策集2015」発表

(事務局)

民主党川崎市議会議員団の政策集が発表されましたね。

(堀添)

はい。2007年、2011年に引き続いての発表ですので、今回が3回目の政策集となります。4月には川崎市議会議員選挙が予定されていますので、これを視野にいった政策と言えます。

(事務局)

どのような特徴がありますか。

(堀添)

まず、目指すべき川崎市の姿として、「元気な『中間層』と『地域経済』の活性化」を掲げています。急速に進む格差の拡大により、貧困層は全世帯の1/6を占めるに至っています。この数値は、OECD平均を5割近くも上回っており、いわゆる先進諸国の中でも極めて貧困率が高い国になっています。経済の発展の観点からも、中間層を厚くしていくことが重要です。

また、地域経済の活性化のために、拠点駅を中核とした「職住近接」「商住近接」「医住近接」をめざしたまちづくりを進めていくとしています。

この2つの柱の下に、福祉・医療や子育て・教育、まちづくりなどの7つの分野に分けて、個別の政策を提示しています。

(事務局)

具体的には、どのような政策が示されているのでしょうか。特徴的なものを教えてください。

(堀添)

たとえば、「福祉・医療」の章では、介護難民ゼロ、地域包括ケアシステムの確立、高度医療のまち「かわさき」へ、バリアフリー都市宣言の4つの項目を掲げており、その下に合計14項目の個別政策を記述しています。(編集注：裏面に主な項目を掲載しましたので、あわせてご参照ください。)

この政策集の中では、具体的な数値目標までは設定できていない項目も少なくありませんが、これをベースに市民から率直な意見や要望を寄せていただくことを重視した構成となっています。その意味では、市民を含めた「議論のための材料」といった面もあると思います。

(事務局)

ありがとうございました。

←『かわさき まちづくり政策集2015』
ほりぞえ健事務所でも配布しています。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

Kawasaki
—かわさき まちづくり政策集 2015—

- 民主党
- 医 [福祉・医療]
- 職 [仕事・産業・中小企業]
- 住 [治安・防災・まちづくり]
- 交 [道路・鉄道]
- 育 [子育て・教育]
- 環 [緑・ごみ・川・エネルギー]
- 官 [議会・行財政]

民主党川崎市議会議員団

「かわさき まちづくり政策集2015」 民主党川崎市議会議員団

元気な「中間層」と「地域経済」の活性化！

- ◎少子高齢化、賃金低迷、将来不安を克服し、厚く豊かな中間層を再生！
- ◎拠点駅を中核とした「職住近接」「商住近接」「医住近接」生活者視点の「3つの近接（コンパクトシティ）」で地域を活性化。

医：福祉・医療

- 介護難民ゼロへ！
- 地域包括ケアシステムの確立！
- 高度医療のまち「かわさき」へ！
- バリアフリー都市宣言！

交：道路・鉄道

- 鉄道ネットワーク整備！
- 道路ネットワーク整備！
- 生活に密着した交通対策を推進！

職：仕事・産業・中小企業

- 働く人の味方です！
- 東京オリンピック・パラリンピックを成功させ、おもてなしの観光都市をめざします！
- 市内企業・商店街の味方になります

育：子育て・教育

- 「子育てするなら川崎市！」をめざします！
- 「かわさき型教育モデル」の実現！
- 特別支援教育をすべての子どもたちに

住：治安・防災・まちづくり

- 安全・安心な地域づくりに取り組みます！
- 都市型災害への備えを万全に！
- これまでも、これからも住みたいまちナンバーワンへ！

環：緑・ごみ・川・エネルギー

- 川崎発！低炭素社会の実現へ！
- ごみのさらなる減量へ！
- 緑あふれるまちづくり！

官：議会・行財政

- 議員の政策立案能力向上！
- 透明度100%議会！危機管理に対応した議会！
- 川崎でできることは川崎に！

連載コラム 川崎と高津の地名（No.24） 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」日本地名研究所編「川崎の町名」

「向ヶ丘」の由来

明治22年の市制・町村制施行時に、上作延、長尾平、菅生の4ヶ村と下作延村の飛地が合併してできた向丘（むかおか）村にちなむ町名です。「向丘」の村名は、旧長尾村の鈴木久弥村長が名づけたもので、多摩丘陵のことを「多摩の横山、向の丘」と呼んでいたことから命名されたものです。

昭和13年に川崎市に編入され、向丘の地名はなくなりましたが、戦争中に陸軍用地として接收され、返還されたときに旧向丘地区は「向ヶ丘」と仮の大字がつけられました。

その後、昭和57年に高津区から宮前区が分区した時に、当時の向丘字南原が向ヶ丘（むかいかおか）となりました。なお、宮前区の向丘地区は、以前からの区画整理や住居表示の実施等により、神木、白幡台、へやき平、南平台、犬蔵、菅生、初山、水沢などの町名に変わりましたが、この地区の名としては、現在も「向丘」を使っており、公共施設名や団体名等でひろく使われています。

なお、24回にわたって連載してきました「川崎と高津の地名」も、今回で最終回となりました。ご指導いただきました故上田恒三先生はじめ、ご協力くださいました皆様に重ねてお礼申し上げます。

毎週、最新ニュースを駅頭でお配りしています。

雨天決行

月曜日：津田山駅 水曜日：溝口駅南口 金曜日：梶が谷駅 / 午前7時～8時半